

2009年4月1日

お客様各位

日商エレクトロニクス株式会社
ソリューションパートナー事業本部
技術統括部 サポートグループ

MOS3.10.5- GA リリースのご案内

拝啓

貴社益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。

平素は格別なるご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、この度 MOS3.10.5-GA のリリースを弊社より開始させていただきます事をご案内申し上げます。

バージョンアップをご希望されるお客様は、下記内容をお読みの上インストールをご実施頂きます様、宜しく願い申し上げます。

敬具

- 記 -

■対象のお客様

次の何れかの条件を満たすお客様はバージョンアップが可能です。

- ・Mirapoint 4, 5シリーズハードウェアモデル(※1)、若しくはRG100をご使用中のお客様
- ・ご購入から一年以内、若しくは保守契約を締結されているお客様

(※1) Mirapoint4, 5シリーズ:

RG300, RG350, MD450, RG450, M450, M4500, M4500n, M4500s, RG500, M50
M500, M5000, M5000n, M5000s

■MOS3. 10. 5-GAの新機能と変更点

<新機能>

MOS3. 8. x以降、新たに次の機能が追加されました。

1. STARTTLS Support in IMAP and POP
従来のSMTPに加え、POPとIMAPに於いてもSTARTTLSをサポートしました。
2. SMTP Banner Delay
SMTP接続時のGreeting Message応答を意図的に遅延させることが可能となりました。
3. IdentHost
SMTP接続時のGreeting Message応答時に出力するFQDN名が変更可能となりました。
4. Webmail送信制限
Imessageあたりの宛先数制限、時間あたりの送信数/総宛先数制限が可能となりました。
5. AutoReply
自動返信に於いて組織内外毎の定型文の設定、開始/終了日時の設定が可能となりました。
6. SPF
SPF(Sender Policy Framework)による、詐称検知が可能になりました。
(DNS検索対象: TXTレコードのみ、 構文: " exist" , " exp" は未サポート)
7. ReputationHurdle
SMTP接続元IPについて、コムタッチDBをリアルタイムで参照し、その結果によって予め定義した処理(drop, fail, 他機能への引継ぎ等)を実行する機能が加わりました。

<主な変更/修正項目>

MOS3. 8. x以降、次の項目が変更、及び修正されました。

1. ライセンス
License listコマンドで出力されるライセンス名が変更されました。
2. 例外処理
Exceptionコマンドにより、例えばsendercheck等のシステムデフォルト設定に対し、指定した条件に基づいて例外処理を設定する事が可能になりました。

■MOS3. 10. 5-GA 既知の問題

MOS3. 10. 5-GAに於いて、次の問題が見つかっております。

1. AutoReply

AutoReply機能をldap連携させた場合、ldap側に更新内容が反映されません

2. フィルター

EnvelopeToを条件に指定した場合、フィルターが機能しません。

3. NDMP

SelectiveRestoreを行った場合、ユーザスパム関連設定(WhiteList, BlackList, WhiteListTo, JunkMailFilter)が戻りません。

(注)サポート対象Backupサーバソフト： NetVault8.2、NetBackup6.5

■MOSバージョンアップの前に

バージョンアップの実施に際して、次の点にご注意ください。

注1) バージョンアップ進行中は、システムを再起動しないでください。

バージョンアップ終了後に自動的に再起動が実施されます、尚、バージョンダウンは出来ません。

注2) ブランディングを実施されている場合、事前に現在のブランディングファイルを取得しておき、バージョンアップ終了後に再適用してください。尚、古いMOS バージョンのブランディングは引継げない可能性があります。その場合は、お客様ご自身にてブランディングを再作成して頂く必要があります。

注3) クラスタシステムをバージョンアップする場合、クラスタを解除後(Standby停止後)にバージョンアップを実施してください。

注4) スプールサーバをバージョンアップする場合、事前にシステムのフルバックアップを実施される事をお勧めします。RazorGate シリーズの場合は、システムコンフィグを事前にバックアップしてください。

注5) MOSバージョンアップを実施するには、Upgrades Allowed ライセンスが必要です。ご使用中のMirapoint にインストールされている事を事前にご確認ください。

```
CLI > license status
```

```
Upgrades Allowed
```

■MOS3. 10. 5-GA の入手先

メーカーFTP サイトからモジュールをダウンロードしてください。

ダウンロードしたモジュールは、バージョンアップ対象のMirapoint からアクセス可能なネットワーク上のanonymousFTP サーバ、若しくはHTTP サーバに一旦保存してください。

入手先：ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/R3_10_5_GA.mpu3

■MOS3. 10. 5-GA へのバージョンアップ方法

事前にサービスを停止し、必要に応じてBackupを実施した上で実行します。

① Mirapoint にadministratorでコマンドログイン

② update install コマンドを実行

<anonymousFTP サーバをご利用の場合>

CLI > update install ftp://ftp サーバのFQDN(/パス)/ファイル名

<HTTP サーバをご利用の場合>

CLI > update install http://http サーバのFQDN(/パス)/ファイル名

実行例)

②-1. update install コマンドを実行

CLI > update install http://192.168.x.x/mirapoint/R3_10_5_GA.mpu3

②-2. 上記コマンド実施後、次のメッセージが表示されますので「y」を入力

Some updates can automatically reboot the system. Continue? (y/n)

※インストール完了後、Mirapoint は自動的に再起動します

③ バージョン確認

再起動完了後、administratorにて再度コマンドログインしバージョンを確認します。

CLI > version (MOS3. 10. 5-GAと出力されればバージョンアップは完了です)

■Patch

MOS3.10.5-GAへバージョンアップ後、次のPatchの適用をお勧めします。

適用は、MOSバージョンアップと同様にupdate installコマンドを用いて実行します。

(バージョンアップ方法の項参照)

• D3_Adjust_SMTP_Params

smtp通信終了後、相手側MTAに対してQUIT コマンドを即発行するPatchです。

※パッチ適用時は自動でsmtpが再起動します。

(入手先: http://ftp.mirapoint.com/pub/mert/D3_Adjust_SMTP_Params.mpu3)

※本Patchはupdate install時にパッチ名の最後に下記のように下線オプションを指定する必要があります。

```
CLI > update install http://192.168.x.x/D3\_Adjust\_SMTP\_Params.mpu3?timeQuit=120s&cacheSize=0
```

• E3_SophosDA

VirusCheckに於いて、passwordで保護された添付ファイルをスキャンした場合、デフォルト動作のスキャンが失敗したとのメッセージが対象メールの本文に挿入されます。このメッセージ挿入を実施させない場合に本パッチを適用します。

※サービス再起動なし

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/E3_SophosDA.mpu3)

■お問い合わせ窓口

日商エレクトロニクス株式会社

ソリューションパートナー事業本部

技術統括部 サポートグループ

e-mail: mp-tech@nissho-ele.co.jp

■改訂履歴

2009/4/1 初版

2009/7/1 第二版

以上